

<岩小の教育理念>

「育ちと学びの共同体」

→「子ども・教師・地域が一体となって
生き生きと学ぶ学校でありたい」

<岩小職員としての心構え>

- 教師としての人権感覚の育成
- 子どものよさを見出し、
認め励ます姿勢の重視
- 心を開き、語り合い、授業づくり研修
等を通して学び合う職員集団づくり



令和3年度

岩村田小学校グランドデザイン

<岩村田小学校の教育目標>

ひとりになれる ひとつになれる
～心と体をはたらかせながら共に学ぶ子ども～

|| 願う姿

- ☆目を輝かせ、仲間と共に学習に取り組む岩小っ子
- ☆感謝・尊敬・いたわりの気持ちを表現できる岩小っ子
- ☆心と体の健康を大事にする岩小っ子



【佐久市コスモスプラン】

読むこと 書くこと 行うこと

【保護者・地域の願い】

- 体験を通して、よりよい人間関係づくり
を進め、コミュニケーション力を高めて
ほしい。
- 一人一人の子どもに寄り添った指導
を進め、確かな学力をつけてほしい。
- 地域の自然や歴史を愛し、安心・安全な
学校生活を送れるようにしてほしい。

願う姿の具現に向けた取組

自分のもてる力を発揮して、友と一緒に考えを出し合いながら、課題解決に取り組む子どもを育てる。

<授業づくり>

研究テーマ『問いのある授業』～自ら「問い」を見だし解決していく学び～
 プラン1 子どもの願いや「問い」から生まれる学習問題
 プラン2 「かかわる・感じる・考える・書く・語る」学習場面の工夫（5K）
 プラン3 自分の学びの振り返りと定着の時間⇒「わかった」を実感できる
 『学習問題・見通し』など、解決への道筋を黒板にマグネットで明示します。
 「ひとりでタイム」と「ひとつでタイム」を設けます。

<学級づくり>

生活の3本柱を生かした生活づくり 重点：あいさつ
 ○あいさつ：互いを尊重し合う人間関係の基本、「ありがとう」を伝え合える学校
 気持ちよく生活するために、全員に必要な基本的なスキル
 ○くつそろえ：身のまわりの環境を整えようとする社会性の育成
 落ち着いた一日の生活のスタート
 ○清掃無言：心と体の調和した活動、人やものへの感謝、一心に打ち込む生活態度の育成

+1プラン 自分から意欲的に学ぶ家庭学習
 自分学習：自分で学習する内容を選んで・考えて、
 学習する力を育てる。

○自己の生き方について考える道徳の授業
 互いに自分の価値観を見つめる時間

○個の実態に応じた学習への支援
 一人一台パソコンの有効利用

発達段階に応じた重点的な支援
 低学年：学習基礎・基本的な生活習慣の定着
 【聴く・話す・読む】
 中学年：人間関係づくりの充実
 【相手を意識した自分の考えの表出】
 高学年：リーダー意識の育成
 【全校への創造と発信】

○生活科・風の時間の学び ★「岩村田学習」への取組
 「本物」に触れ、「学級の宝物」となる探究

○自己実現につながる特別活動
 ・学級活動：目的を持った話し合いと
 目標達成のための係活動
 ・児童会活動：異年齢での協力と学校づくりと
 互いに支え合いながら参画できる児童会活動

○安心できる学校生活 新しい生活様式を取り入れた学校生活 相談窓口の充実：校長室・保健室・担任・学年 いじめ・不登校支援 → チームで早期対応
 ○安全な学校生活 新型コロナウイルス等の感染症予防対策：早めの対応 交通事故防止の取組：折に触れ注意喚起・見守り隊との連携
 ○体づくりへの取組 新校庭や体育館の効果的な活用 健康な生活習慣の確立 体づくりのための学年・全校運動の工夫

<学校を支える様々な連携>

- 家庭との連携＝保護者の理解や協力を得ながら行う活動：「運動会」「音楽会」「あいさつ」「親子図書館」「健全なメディア活用」「家庭学習」「いのちの学習」
- 地域との連携＝コミュニティスクールの組織・人材を活用して行う活動：「クラブ活動」「地域行事への関わり」「環境整備活動」「見守り隊」「岩村田学習」